

## “Manga”の海外における展開の形

仙波大樹（兵庫県立北摂三田高等学校）

“Manga”の海外における展開の形		北摂三田高校 2年 仙波大樹 ゼミ指導教員 村本 守
<b>研究動機</b>	<p>韓国発の「Webtoon（ウェブトゥーン）」と呼ばれる縦読みフルカラーの漫画が市場規模を拡大 ⇒日本のマンガは海外展開・デジタル展開の遅さが指摘される。 ⇒日本のマンガは世界で戦えるのか？ という懸念の声もある中、これからの日本の漫画ビジネスの海外展開について考えたい。</p>	
<b>先行研究と研究テーマ</b>	<p>◎ウェブトゥーンに関する記述 ① 京都精華大学国際マンガ研究センター 朴秀寅氏 「韓国のウェブトゥーン」より引用 “ウェブトゥーンは、画面を上下にスクロールしながら読む新しい漫画の読み方を生み出した。” ② 早稲田大学 今井一氣氏 「マンガの表現形態に関する研究—縦スクロールマンガの展開—」より引用 “スマートフォンで読むのに適したマンガの形として縦スクロール形式が登場した。” ◎コミックビジネスに関する記述 ③ 北海道大学 岡田美弥子氏 「マンガビジネスの生成と発展—コミックのビジネスシステムの解明—」では、「マンガ家の発掘・育成の仕組み」と「競争による選別・淘汰の仕組み」から日本のコミックビジネスが成り立っていることを指摘している。 ④ 神戸大学経済学部 丸山佐和子ゼミ 「マンガ産業の新たな可能性 電子書籍革命のなかで日本のマンガを世界に発信する」より引用 “電子書籍化を促進し、日本の素晴らしいマンガを広く普及させることによって、マンガ産業の新たな道は必ず開けてくるであろう。” ①、②ではウェブトゥーンの特徴、③では日本のマンガ生産体制、④では電子化について述べられている。（インターネット上で確認）</p>	
<b>研究結果</b>	<p>1. コミック産業の現状 ・ウェブトゥーンは世界に拡大中、日本産ウェブトゥーンも登場 ・外国出身マンガ家の登場【「Dr. STONE」作画担当 Boichi 氏（韓）トニー・ヴァレント氏（仏）作「RADIANT」が日本でアニメ化】 ・仏・キューン社では日本式のオリジナル作品を出版しており、日本の漫画誌で取り扱われるケースもみられる ⇒日本形式のマンガを他国で制作するビジネスの可能性 ・日本の漫画の有力な海外向けデジタルサービスとして挙げられる「MANGA Plus」は「少年ジャンプ」系列作品の最新話を海外に日本での最新号と同日配信している ⇒日本を含む世界同時リリースは十分可能である ・日本のマンガ市場は2020年史上最高を記録（6126億円） ・海外での日本のマンガ市場はアニメ配信拡大に伴い急成長 ⇒読者の増加、需要拡大が見込めるのではないかと</p> <p>2. これからのマンガビジネスについての考察 ・日本と同じ形式のマンガを作る外国人の存在 ⇒“読者”だけでなく“作り手”としての可能性が潜在 ⇒マンガへの認識を「日本産」から「日本式」へ ※外国産の“日本式”マンガの逆輸入という新しい形 ・国内の漫画市場が拡大していること、MANGA Plus での世界中での最新話同時配信の実例から、海外で制作されたマンガの日本と世界での同時展開は十分可能と考える。</p> <p>3. 問題点・実現に向けた課題 ・右から読む白黒の日本式マンガが海外の読者や電子書籍という形態にどの程度受け入れられるかが不明 ⇒カラー版や縦読み版の形式のものも展開するべきか ・海外でマンガを制作する作り手の発掘・育成 ⇒日本人漫画家・編集による外国人漫画家志望者の育成の必要性</p>	
<b>研究方法</b>	<p>1. 漫画・コミック分野の現状を、複数の事例を通して分析し、新たなビジネスに繋がる可能性を探す。 2. 世界で「マンガ」が今後どのように展開していけるかを考え、これからの新しいマンガビジネスを提案する。 3. 案の問題点を考察し、実現するために解決すべき課題を挙げる。</p>	
<b>まとめ・展望</b>	<p>日本のマンガ産業の市場規模は世界トップレベルだが、韓国のウェブトゥーンをはじめ、外国でのコミックビジネスの発展は目覚ましい。世界に誇れる日本のマンガ文化の発展のために、マンガという“形式”を、アニメ、映画の配信サービスとともに世界にアピールし、読者の開拓、「海外産マンガ」の普及・拡大を行っていくことを提案したい。予測の難しいところ、障壁となりうる点はあるが、今後の展望としてマンガを「日本の特産品」から「日本発のフォーマット」という1つのジャンルとして確立し、日本を「総本山」とした文化コミュニティを展開していけるような可能性はあると考える。</p>	
<b>【参考文献】</b>	<p>京都精華大学国際マンガ研究センター 朴秀寅氏「韓国のウェブトゥーン」 早稲田大学 今井一氣氏「マンガの表現形態に関する研究—縦スクロールマンガの展開—」 北海道大学 岡田美弥子氏「マンガビジネスの生成と発展—コミックのビジネスシステムの解明—」 神戸大学経済学部 丸山佐和子ゼミ 植田尚子氏 奥村友紀氏 中山七彩氏 福山晶規氏 前橋真優氏 「マンガ産業の新たな可能性 電子書籍革命のなかで日本のマンガを世界に発信する」 <a href="https://www.shonenjump.com/">https://www.shonenjump.com/</a> <a href="https://www.viz.com/radiant">https://www.viz.com/radiant</a> <a href="https://www.shonenjump.com/mangaplus/whatis-mangaplus/">https://www.shonenjump.com/mangaplus/whatis-mangaplus/</a> <a href="https://shuppankagaku.com/statistics/comic/">https://shuppankagaku.com/statistics/comic/</a> <a href="https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatsu/h18seika/O1anime/O1_shu_O6sousei2.pdf">https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatsu/h18seika/O1anime/O1_shu_O6sousei2.pdf</a></p>	